

第 46 回長野市地域公共交通会議 議事概要

1 開催日時 令和 7 年 12 月 22 日 (月) 14 時 00 分～15 時 30 分

2 開催場所 長野市役所第一庁舎 7 階 第一・第二委員会室

3 出席委員 19 人

4 次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 協議事項

(1) アルピコ交通(株)運行路線に代わる市バスの運行について

(2) 中山間地域輸送システムの A I オンデマンドバス移行について

(3) 篠ノ井ぐるりん号の運行見直しについて

(4) 東北ぐるりん号の運行見直しについて

(5) イオンモール須坂周辺バス路線の運行ダイヤ見直しについて

4 報告事項

(1) 運賃協議分科会の開催結果について

(2) 市街地空白型乗合タクシーの運行事業者選定について

5 その他

6 閉 会

5 議事概要

(1) アルピコ交通(株)運行路線に代わる市バスの運行について

[資料 1 に基づき事務局より説明。運行内容について承認。]

<質疑・意見>

○A 委員

中条・高府線のダイヤの中で長野駅 8 時 10 分発の便が長野西高中条校さんの通学に使われている。大型 2 台で運行していると思うが、今後中型 1 台で対応できるのか。

○事務局

中型バス 2 台での運行を予定しており、帰りの下校の便についても、2 台での運行ということで予定をしている。

○B 委員

この限られた時間の中でこの長距離路線バスを引き継いで維持しているということに非常にご苦労があったかと思う。

ダイヤを見ると、長野市の中心市街地に向かっていく午前中の便と午前中に帰ってくる便、午後すぐに帰ってくる便それから帰宅時間の便ということでこれだけ長い距離をしっかりと抑えていることは、非常に地元の方にとってもしっかりと使える路線になっていると思う。その中で今回のこの路線について、長野駅から初引への需要についてや新町大原線では通勤通学時間対応で特に手厚くなっているが、今後需要があるかどうか、利用者がいるかどうかということを図ってもらい、今後のダイヤ、運行経路のあり方を検証してほしい。

これだけの維持をするので、地元の方は路線を自分たちで守っていくという気持ちを醸成してもらう必要があるのかなと思う。

(2) 中山間地域輸送システムのA I オンデマンドバス移行について

[資料2に基づき事務局より説明。運行内容について確認。]

<質疑・意見>

○B 委員

今回2地区を1つのエリアにすることでエリアが拡大しているが、利点もある一方で、そのエリア内の運行距離が長くなる可能性もある。その場合に、乗り残しや利用を諦めてしまうというようなことも考えられる。そのあたりの対応はどのようにされているのか。また、エリアが広くなるとタクシードライバーに負担がかかると思うので、適宜確認を取っていく必要があると思うが、そのあたりの対応をどのように考えておられるのか。

○事務局

各地区ご案内の通り、人口の減少が進んでいるため、これまでの定時定路線方式では、地域内に点在する需要に対して、需要に応じた柔軟な運行ができない状況になっている。その上で、デマンド方式ということで、必要な時間帯に必要な区間だけ運行するという形に改めるものである。現状の需要、人口から各地区車1台ずつ用意することを考えているが、先行地区の状況等も見ると賄えると考えている。今後利用の実態、運航の状況を見極めていきたいと考えている。

また地区内の利用ももちろん考えられるが、やはり一番は幹線のバス、鉄道、或いは地区外の病院、商業施設への利用が多くなると思うので、そういった需要がどの程度変化するのか、今後オンデマンドによって活性化する可能性もあるので見極めながら今後対応していきたい。

○B 委員

それぞれ1台ずつになるのか。

○事務局

現状では各地区1台ずつという状況になる。AI オンデマンドバスは単独利用だけではなくて乗り合わせが生じるので状況を見ながら運行していきたい。

(3) 篠ノ井ぐるりん号の運行見直しについて

[資料3に基づき事務局より説明。運行内容について確認。]

<質疑・意見>

なし

(4) 東北ぐるりん号の運行見直しについて

[資料4に基づき事務局より説明。運行内容について確認。]

<質疑・意見>

○B 委員

今回のルート変更及び、ダイヤ変更について賛成である。12便が9便になるといつてもやはり乗り継ぎ等の勝手がよくなければ使えないことになるので、考慮していただいた点はよかったです。また東急ライフの代わりにツルヤが利用できるようなルート変更というのも地域にとってはありがたいと思う。また、普段使いができる北島眼科にも寄れるということは、やはり利用者にとってはありがたいなと思う。市民病院だと検査等が主体になってくるので普段使いの病院というわけではない。循環型バスの場合は、地区内を回って利用すると考えると普段使いができるところに停まるルート変更はありがたい。

1点心配になったのが、一里塚公園西のバス停について、ルート変更のために停留所を移設しないといけないのはしょうがないと思うがどのくらい離れているのかわからない。道路を跨ぐため利用者からみると心配だと思う。この辺りどのように設定したのか教えていただきたい。また循環バスといつてもフィーダー路線なので、北しなの線との乗り継ぎも考えていく必要があると思う。その辺り、十分乗り継げる時間帯を設定されているのかどうかということを伺いたい。

○事務局

まず一里塚公園西バス停について資料5ページをご覧いただきたいが、距離的には200から300メートルぐらいの距離だと思う。ご覧いただいている現行ルートが曲がっている交差点を利用の方は渡ることになるかと思うが、こちらは信号と横断歩道がある交差点になるので安全に渡っていただくことは可能であると考える。また、この移設に当たってはなるべく近いところがいいと考えた。このウエルシアと現行の赤いルートの走っている区間は、高低差によって長い上り坂がある場所になっている。利用者は高齢の方も多い中で、特に冬季間、凍結した路面で坂道を上り下りするの

は大変と考え、現行の停留所になるべく近い安全な場所での利用ができるように、長電バスさんにはご無理をお願いして、ウエルシアの前を通るルートとした。ご理解いただければと思う。

また鉄道の接続については、この路線はご案内の通り 3 駅での接続がある。信濃吉田駅、北長野駅、朝陽駅ということで、どの駅での接続を優先するのかという課題もあったが、長野電鉄については割と頻繁に電車が走っているので、それほど待つことなく接続は可能と考えている。

またダイヤについて先ほど説明が漏れたが、6 ページをご覧いただければと思うが市民病院の出発時間を毎正時にしている。これにより 1 便を除いて各停留所に到着する毎時の時刻が統一され、わかりやすくなることで、利用促進を図っていかなければと思う。

○C 委員

本当にご苦労しているのもわかるし、乗っていないバスを見るのはとても心苦しく思っているが 1 つお願いがあって、説明会を地区の役員さんに対してはしてくださるが実際、その役員さんたちはバスに乗るわけでもないので、地域に帰ってあまりその説明をしていないのが今現状なので老人クラブなどで説明をしていただいた方がありがたい。バスがなくなった、時間が変更になったという話は実施されてから知ることも多く、できればそういう高齢者の集まるところ、特に今老人クラブも減っているが、そういう場で説明会を 1 回ぐらいしてもらうか、それともプリントをもらって代表が説明するようなものにならないものかということを色々な集まりの中で、聞いたりする話なので考えていただければありがたい。住民自治協議会の役員さんが聞いてあまり説明はないまま終わってしまうのでよろしくお願ひしたい。

○事務局

我々も公費を使って運行する中で、やはり説明責任を求められるることは痛感しているところである。現在、交通機関がもうこれだけしかなくなってしまうというような中山間地域では、住民向けのあらゆる皆さんのが参加いただける説明会を開く場合もある。説明資料の全戸配布や回覧による周知も実施しているところであるが、今後も路線等の見直しが生じる可能性があるので、どういった説明の方法が良いのかについては引き続き考えていきたいと思う。

○C 委員

ぐるりん号のように色々なラッピングがされていて見分けがつくように、できれば目で見てわかるような車両になればありがたい。

○事務局

10月から新たに運行した路線についても、マグネットシート等を使ってできるだけ乗合タクシーと認識できるようにしており、引き続き対応していきたい。

(5) イオンモール須坂周辺バス路線の運行ダイヤ見直しについて

[資料5-1、5-2、5-3に基づき事務局より説明。運行内容について確認。]

<質疑・意見>

なし